

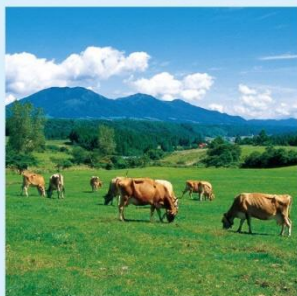


第74回

晴れの国 光で育つ 緑の心

全国植樹祭 岡山 2024

実施計画 (概要版)



目次

第1章	開催概要	1
第2章	式典行事計画	2
第3章	植樹行事計画	4
第4章	式典会場等整備計画	5
第5章	運営計画	7
第6章	宿泊・輸送等計画	10
第7章	記念事業等計画	10
第8章	広報・協賛計画	12

第 1 章 開催概要

項目	内容
開催理念	・「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保 ・県民の緑化意識の醸成、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちにつないでいく ・本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信
基本方針	・未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会 ・岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信
大会テーマ	「晴れの国 光で育つ 緑の心」
シンボルマーク ・ 大会ポスター原画	 シンボルマーク  大会ポスター原画
開催会場	式典会場：ジップアリーナ岡山（岡山市北区）   （イメージ図） サテライト会場：5月26日(日) GREENable HIRUZEN（真庭市） （グリーンナブル ヒルゼン）  PR会場：4月13日(土) イオンモール倉敷（倉敷市） 
主 催	公益社団法人国土緑化推進機構、岡山県
開催規模	約2,000人（中央特別招待者30人、県外招待者720人、県内招待者1,100人）
開 催 日	令和6（2024）年5月26日（日）

第2章 式典行事計画

- ・開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容とします。
- ・簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- ・県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

■式典行事スケジュール

区分	プログラム	進行内容
プロローグ (60分程度)	イントロダクション	来場者の歓迎、大会概要等
	プロローグアトラクション	～森林の軌跡～ ・招待者を歓迎する気持ちを表現 ・岡山の林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
	感謝状贈呈	「大会テーマ」「シンボルマーク」「大会ポスター原画」 感謝状の贈呈
	記念切手贈呈	国土緑化運動記念切手の贈呈
記念式典 (60分程度)	天皇皇后両陛下御入場	
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
	国歌独唱	
	主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、岡山県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者などへの表彰
	苗木の贈呈	県内高校生から農林水産大臣、環境大臣に苗木を贈呈
	天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
	メインアトラクション	～森林への想い～ ・森林への想いや都市とのつながり、決意を表明
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長
	リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
	閉会のことば	岡山県議会議長
	天皇皇后両陛下御退場	
エピローグ (30分程度)	エピローグアトラクション	～豊かな森林を次世代へ～ ・岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認

■登壇者・出演者

項目	内容
登壇者	大会会長（衆議院議長）、公益社団法人国土緑化推進機構理事長・副理事長、農林水産大臣、文部科学大臣、環境大臣、埼玉県知事、受賞者、日本郵便(株)代表取締役社長兼執行役員社長、岡山県議会議長、岡山市長、岡山県知事
出演者	前野朋哉（俳優、映画監督）、岸本由有（シンガー・ダンサー）、岡田美奈子（RSK山陽放送アナウンサー） 三宅由佳莉（海上自衛隊東京音楽隊）、県内中学生・高校生・大学生 みどりの少年隊、岡山市ジュニアオーケストラ 県内森林・林業・建築関係者、木製楽器奏者、手話通訳・要約筆記団体

■アトラクションの概要

- ・作家あさのあつこさんによる書き下ろし作品『この緑に抱かれて』をもとに、岡山県の高校生たちによる「会話劇」を中心に構成
- ・舞台演劇と映像シーンを連携させ、生徒たちの臨場感のある言葉の力を中心に、オペラ、ミュージカル、ロック等様々なスタイルの音楽を掛け合わせ、岡山の若者たちが、未来へ向けてより豊かな森林を継承する決意を力強く表現

区分	演出テーマ	内容	主な出演者等
プロローグ アトラクション	もり 森林の軌跡	岡山県の高校生たちが、岡山の森林について、興味を抱き、その未来への想いが芽生える過程を丁寧に表現	 まえの ともや 前野 朋哉 さん 〈高校教師役〉 岡山県倉敷市出身。 俳優、映画監督。 NHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」等、映画やドラマなど数々の話題作に出演中。
メイン アトラクション	もり 森林への想い	岡山の森林を、いかににより豊かに未来へ引き継ぐかを考えてきた生徒たちの新たな決意を力強く表現	 きしもと ゆう 岸本 由有 さん 〈高校教師役、ソプラノ〉 岡山県岡山市出身。 シンガー・ダンサー。 第21回大阪国際音楽コンクール声楽部門ミュージカルコース全国大会第2位(1位なし)。
エピローグ アトラクション	もり 豊かな森林を次世代へ	建築家・隈研吾さんからのビデオメッセージや岡山の森づくりの次代の担い手が「未来への夢」を語り合うとともに、出演者全員が登場し、フィナーレを演出	 ©J.C. Carbonne 隈 研吾 さん  ©川澄・小林研二写真事務所 CLTパビリオン「風の葉」



あさの あつこ さん
岡山県美作市生まれ。
作家。
『バッテリー』で野間児童文芸賞受賞。



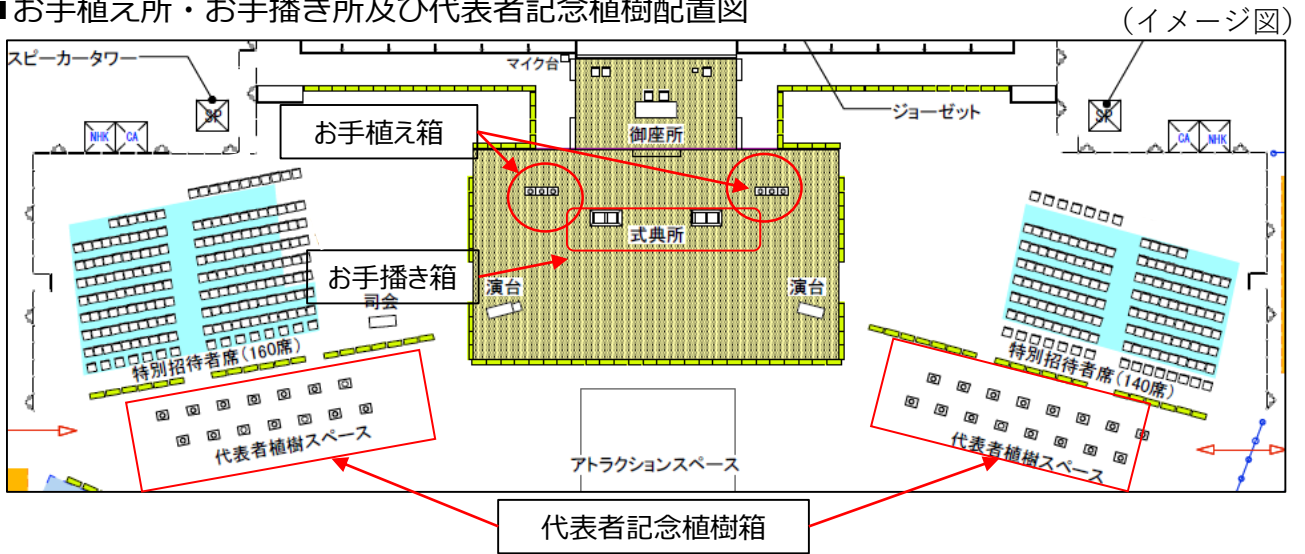
第3章 植樹行事計画

天皇陛下お手植え樹種			皇后陛下お手植え樹種		
県を代表する有用な樹木 3 種			県にゆかりのある花や実の美しい樹木 3 種		
					
アカマツ (抵抗性松)	ヒノキ (少花粉)	スギ (少花粉)	クロガネモチ	アテツマンサク	キクザクラ
天皇陛下お手播き樹種			皇后陛下お手播き樹種		
将来にわたり林業を支える樹木 2 種			四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい 樹木 2 種		
					
ヒノキ (少花粉)	スギ (少花粉)		ヤマザクラ	イロハモミジ	

■ 代表者記念植樹計画等

項目	内容
代表者記念植樹計画	・ 招待者代表は、式典会場内で、天皇皇后両陛下の 2 本目のお手植えと同時に天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種をそれぞれ 1 本ずつ植樹を実施 ・ 植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用
都道府県代表者等記念植樹計画	・ 都道府県代表者等は、式典会場 2 階で、式典開始前に天皇皇后両陛下のお手植え、お手播きと同じ樹種をそれぞれ 1 本ずつ植樹を実施 ・ 植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用
県外招待者へ苗木の贈呈	・ 県外招待者に岡山後楽園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈 ・ 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげる
地域植樹計画	・ 令和 5 年度を中心に県民参加による植樹を実施（県内 6 カ所） ・ 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹 ・ 児童など県民が育てた苗木も使用 ・ 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様が参加

■ お手植え所・お手播き所及び代表者記念植樹配置図

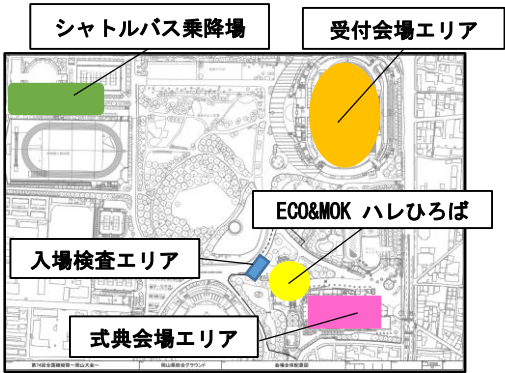


第4章 式典会場等整備計画

- ・会場整備にあたっては、できるだけ自然環境に負荷を与えないように配慮するとともに、経費節減を図ります。
- ・会場に設置する仮設構造物等には、県産木材をできる限り使用するとともに、資源の再利用を推進するなど、環境負荷の低減に努めます。
- ・会場レイアウトや仮設構造物等は、安全性や機能性を考慮し、全ての招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

■施設配置計画

項目	内容
式典会場エリア	会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮
ECO & MOK（エコモク）ハレひろば	式典エリアと隣接した場所に、県内事業者等の環境配慮製品・技術・取組や森林・林業・木材関連の製品・技術・取組などの発信と交流の機会を創出することを目的に展示PR会場を設置
受付会場エリア	シティライトスタジアムで受付及び手荷物預かりを実施
入場検査エリア	IDカードの確認と手荷物検査を実施



施設配置全景



ECO & MOK ハレひろば配置図

■主要施設計画

区分	内容	イメージ図
御座所 式典所	・みどり豊かな中国山地に源を発し、県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法である組子で表現 ・それぞれの河川を彩る四季折々の花々のほか、古来より着物等の布地として利用されてきた麻の葉や川面にきらめく陽光を組子で表現することにより、「晴れの国」や「光で育つ緑」を感じさせるデザイン	
CLTゲート	・ヒノキ生産量が全国でもトップクラスの県産ヒノキCLTを、ジョイント金具を使用せずに結合し、強固な六角アーチを形成したデザイン ・日本の伝統木工技法である組子細工の技術をCLT建築へ応用	

■案内・誘導計画

- ・ 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- ・ 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- ・ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典会場	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示

■電気・通信設備等計画

計画名	内容
電気設備計画	既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置
通信設備計画	運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置
仮設トイレ計画	ECO & MOK(エコモク) ハレひろばなどに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮

■飾花計画

項目	内容
花絵	県立興陽高等学校の生徒が大切に育てたペチュニアなどを使用し、歓迎の気持ちを花絵で表現
プランター飾花	県立瀬戸高等支援学校等の県内特別支援学校の生徒が制作したプランターカバーと県内農業系高等学校の生徒が育成した花苗で会場の華やかな雰囲気を引き立てるよう配置



1年前記念イベント時花絵（県立興陽高等学校制作）



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第5章 運営計画

■招待計画

- ・全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- ・全国植樹祭の運営にあたっては、県職員を中心とした体制で進めます。

招待者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
②県外招待者	特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	一般招待者	500人	各都道府県森林・林業・緑化関係者 等
	小計	720人	
③県内招待者	特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	一般招待者	900人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
	小計	1,100人	

■招待者行動計画（式典当日）

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外招待者	県内招待者	県外招待者	県内招待者
7:30		宿泊施設	宿泊施設	自宅	宿泊施設	自宅
			公共交通機関・岡山駅からのシャトルバス			
7:45			受付・手荷物預かり・入場検査			
9:30	ECO&MOK ハレひろば	入場・着席	都道府県代表者等記念植樹			
			完全着席			
9:50			プロローグ			
10:55	式典行事		式典			
12:00			エピローグ			
12:30						
14:00	ECO&MOK ハレひろば	駅等	岡山県総合グラウンドからのシャトルバス・公共交通機関			
			自宅			

■受付計画

- ・招待者（中央特別招待者を除く）については、式典当日、シティライトスタジアムにて受付を行います。
- ・円滑な受付業務が行えるよう、関係者と連携を図ります。
- ・受付レーンや手荷物預かり会場を記載したIDカード等を事前送付します。

■作品御覧・御懇談計画（5月25日(土)）

項目	内容	出席者
作品御覧	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第74回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者、第74回全国植樹祭大会ポスター原画作者
御懇談	天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場とします。	林業の振興や緑化の推進などに功労のあった者

■会場おもてなし計画

区分	種類	内容	イメージ図
ECO&MOK (エコモク) ハレひろば	総合案内所	各種案内・情報提供	
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供	
	展示コーナー	岡山県の環境・森林・林業・木材関連の優れた製品・技術・取組等の紹介	
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売	
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス	

■サテライト会場等計画

区分	内容	イメージ図
サテライト会場	観光文化発信拠点の施設である「GREENable HIRUZEN（グリーンナブル ヒルゼン）」にサテライト会場を設置します。 【実施予定内容】 式典中継、木工製品の展示・販売、木工体験、森林林業パネル展示、物産販売 等	
PR会場	大型ショッピングセンター「イオンモール倉敷」のイベントスペースにPR会場を設置します。 【実施予定内容】 第74回全国植樹祭PR、木工製品の展示・販売、木工体験、森林林業パネル展示、物産販売 等	

■ 消防・防災・警備計画

消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

区分	内容
消防・防災	・安全衛生部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努める。 ・会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置 ・ECO & MOK(エコモク) ハレひろば等の火気使用についても管理を徹底 ・避難計画を策定し、スタッフへの周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整備
警備	・会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、関係機関と協力して警備を実施 ・警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を実施 ・式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を実施 ・式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を実施

■ 研修・リハーサル計画

- ・円滑な運営に向けて、係員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- ・効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

区分	時期	場所	参加者	内容
式典研修会等	令和6(2024)年 2月3日(土)	県内施設	出演者	式典概要・参加内容説明等
アトラクション 合同練習会	3月28日(木)	県内施設	出演者	アトラクション部分の集合練習
式典合同練習会	3月29日(金)	県内施設	出演者	式典部分の集合練習
係員説明会	4月中旬	県内施設	係 員	業務内容の説明
1か月前 総合リハーサル	4月20日(土) 4月21日(日)	式典会場	出演者 係 員	全体通リハーサル
1週間前 総合リハーサル	5月18日(土) 5月19日(日)	式典会場	出演者 係 員	全体通リハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
前日リハーサル	5月25日(土)	式典会場	出演者 係 員	同上

■ 実施体制計画

実行組織として、実行委員会事務局に大会運営部、式典運営部、会場運営部、広報部、安全衛生部、特別接遇部、招待者接遇部、輸送管理部を設置

第6章 宿泊・輸送等計画

宿泊施設の収容人数、道路交通事情等を総合的に勘案し、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えるとともに、会場周辺の安全を確保し、警備に万全な警備体制を構築します。

項目	内容
宿泊計画	・ 式典前日の宿泊を希望する招待者については、旅行会社を通じて式典会場の近隣地域等の宿泊施設を手配 ・ 食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫
輸送計画	・ 招待者の安全で円滑な輸送を行うため、関係機関と連携 ・ 公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい輸送計画を作成 ・ 中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用 ・ 岡山駅～式典会場までの間、シャトルバスを運行

第7章 記念事業等計画

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様に広く啓発するため、記念事業等を実施します。

項目	名称	開催日・場所・内容等	
周期イベント	1年前	令和5(2023)年 5月20日(土)	西大寺緑花公園・百花プラザ (岡山市東区西大寺南)
	200日前	令和5(2023)年 10月8日(日)	勝央町文化ホール・図書館周辺 (勝央町勝間田)
	100日前	令和6(2024)年 2月25日(日)	「五味の市」周辺広場 (備前市日生町日生)
	アフター	令和6(2024)年 秋頃	大佐山大日高原(仮) (新見市大佐小阪部)
緑化意識・機運醸成イベント		令和5年度を中心に各種イベントにPRブースを出展 森・みどりをテーマにした読み聞かせを県内の大学等と連携して実施	
プレ地域植樹	津山会場	令和4(2022)年 10月8日(土)	大ヶ山牧場跡地(津山市阿波)
地域植樹	鏡野会場	令和5(2023)年 9月30日(土)	恩原高原(鏡野町上齋原)
	勝央会場	令和5(2023)年 10月8日(日)	おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ (勝央町岡)
	新見会場	令和5(2023)年 10月21日(土)	大佐山大日高原(新見市大佐小阪部)
	津山会場	令和5(2023)年 11月11日(土)	ウッドパーク声ヶ嶋(津山市市場)
	高梁会場	令和5(2023)年 11月25日(土)	高梁市市有林(高梁市有漢町有漢)
アフター地域植樹	津山会場	令和6(2024)年 秋頃	大ヶ山牧場跡地(津山市阿波)
苗木の育成体験 (ホームステイ・スクールステイ)		記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、多くの県民の皆様に知っていただくとともに開催機運を醸成	

項目	名称	開催日・場所・内容等
全市町村参画による記念植樹		令和5年度を中心に、県内全市町村において、記念植樹を実施
「木製地球儀」巡回展示		大会シンボルである「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示
記念誌の発行		式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配付
■ 関連行事 全国林業後継者大会		【時期】 令和6(2024)年5月25日(土) (第74回全国植樹祭の前日) 【場所】 津山文化センター(津山市) 【内容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等

<周期イベント及び地域植樹会場等位置図>



第8章 広報・協賛計画

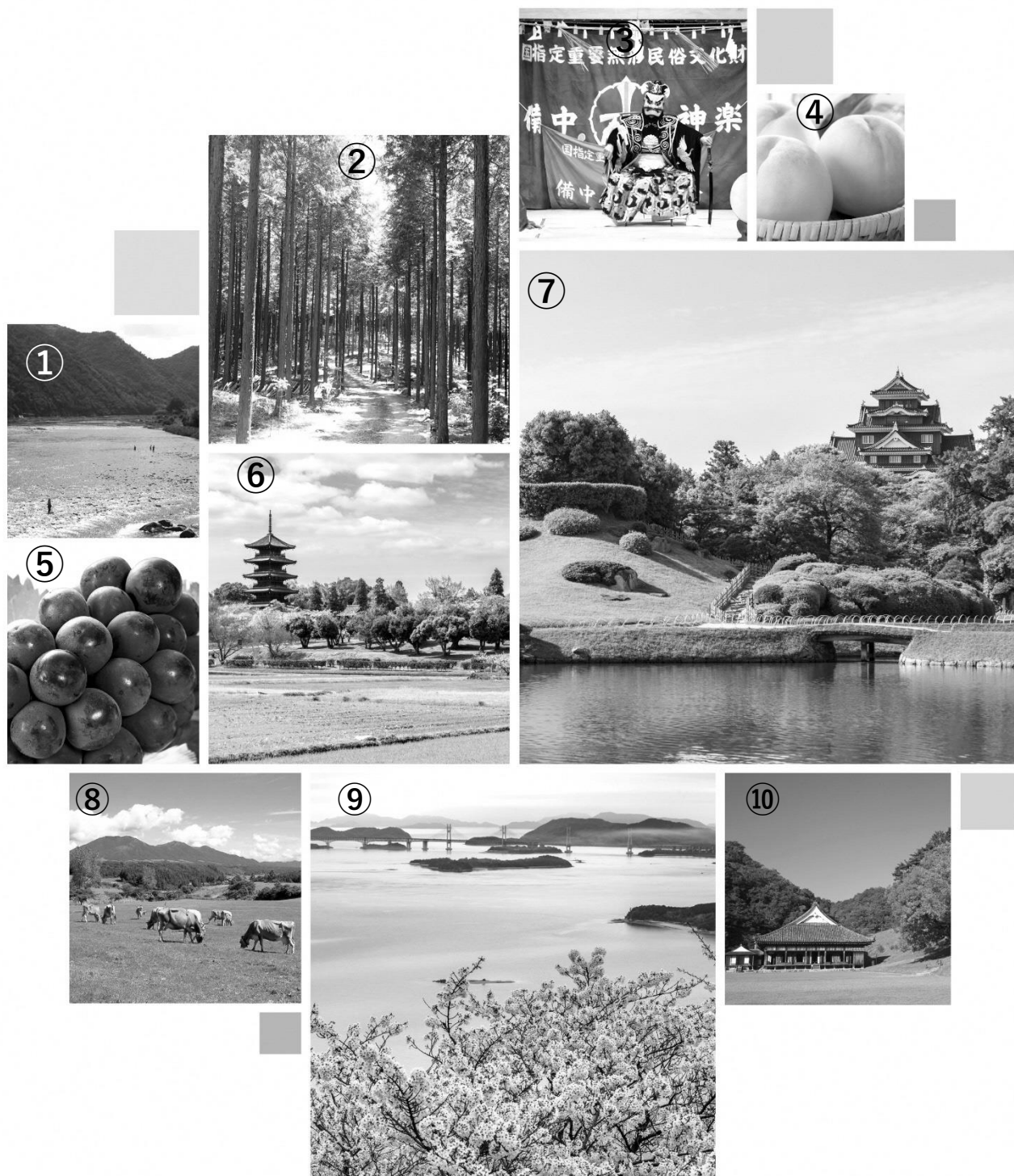
- ・広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- ・広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ・ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

■ 広報計画

項目	内容
インターネットの活用	・公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信 ・各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用
公共広報媒体の活用	・県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施
マスメディアの活用	・第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に実施
企業・団体との連携	・ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭を周知
植樹祭情報紙の発行	・「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信
PRグッズの作成・配布	・ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運を醸成
第74回全国植樹祭 岡山2024 応援事業	・第74回全国植樹祭の開催理念に賛同し、開催周知や機運醸成、開催成果の継承に協力してもらえるイベントを募集

■ 協賛計画

項目	内容
資金協賛	開催に要する資金（協賛金）の提供
物品協賛	開催に要する物品（協賛物品）の提供
その他	開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力



【表紙写真】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ①高梁川 | ⑥備中国分寺（総社市） |
| ②ヒノキ人工林（新見市） | ⑦岡山城と岡山後楽園（岡山市） |
| ③備中神楽（国指定重要無形民俗文化財） | ⑧蒜山高原とジャージー牛（真庭市） |
| ④清水白桃（栽培面積全国一位：R 2） | ⑨瀬戸内海と瀬戸大橋 |
| ⑤ピオーネ（栽培面積全国一位：R 2） | ⑩特別史跡 旧閑谷学校（備前市） |



第74回全国植樹祭 実施計画 令和6年1月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7885
ホームページ：https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024/
または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。

